

1 治安情勢

（1）テロ情勢

12月21日、国家警察は、北スマトラ州デリスルダン県、西スマトラ州パヤクンブ県及びリアウ諸島州バタム島においてテロ容疑者の一斉摘発を実施した。現在当地において邦人や日本権益を狙ったテロの具体的脅威情報には接していないが、日頃から危機意識を持ち、テロの標的となりやすい警察・政府・軍関係施設、ショッピングモール、宗教関連施設などを訪れる際は、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら速やかにその場を離れるなど自ら安全確保に努めることが必要である。

（2）一般犯罪

当地では、ひったくり、オートバイ盗などの窃盗事件のほか、路上強盗、侵入強盗等の凶悪犯罪や薬物犯罪も多く発生している。外出の際は比較的安全な自動車での移動を心がけるとともに、万が一犯罪被害に遭った際は、犯人は凶器を所持しているということを念頭に身の安全を最優先にした対応が必要である。

（3）デモ情勢

メダン市では、最低賃金上昇を要求する労働者らや、高速道路や鉄道建設用地などから立ち退きを強制された住民らによるデモや抗議集会などが行われたほか、11月以降、ジャカルタ特別州知事によるイスラム教冒とく発言を捉えてイスラム団体等による大規模な抗議デモや祈祷集会が行われたが、特段治安への影響は認められなかった。

（4）邦人被害事案

今期、邦人被害事案の認知はない。

2 自然災害

（1）地震

12月7日、アチェ州においてマグニチュード6.5の地震が発生した。この地震による津波の発生はなかったが、震源地である同州ピディ・ジャヤ県を中心に11,200余の建物が倒壊し、102人の死亡が確認されている。

（2）火山

シナブン山（北スマトラ州カロ県）は、近年火山活動を活発化させ、これまでも噴火を繰り返しており、防災当局は、依然警戒レベルを最高の4として火口から半径7キロを立入禁止区域としている。同山では現在も散発的に噴煙があがっており、風向き次第ではクアラナム国際空港の航空機の離発着に影響が生じる可能性もあるので、関連情報に注意が必要である。

3 テロ・爆弾事件発生状況

関連事件は発生していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人関連情報はない。

- 5 対日感情
基本的に良好であり，特段の変化は見られない。

- 6 日本企業の安全に関する諸問題
関連情報はない。

以 上